

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡療育支援センターいちばん星新宮（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日		～ R6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R6年 10月 1日		～ R6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○訪問先施設評価実施期間	R6年 12月 1日		～ R6年 12月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制できている。	・セラピストが各職種そろっている ・多職種で訪問がいける	・次年度から一人当たりの訪問回数を上げていき、より充実した支援を行っていく予定である。
2	担当者間の共通理解ができている	・日常療育担当者・個別担当者が保育所等訪問に行っている。 ・課題が整理されている。	・できるだけ担当者が保育所等訪問に行き、今後も課題の整理と支援内容の統一、保護者との共通理解を行っていく。
3	保護者との事前の話や、実施後のフィードバックやできている。	・事業所内で保護者と話をすることが多いので、取り組みやすい。	・保護者と顔を合わせられる関係性を継続しつつ、今後も直接話をする機会を設けていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていない	・ホームページ上での事業所評価の公表が今年度から義務化されたのでしっかり公表していく ・ホームページで事業所全体としての発信はしていたが、保育所等訪問事業としての発信は行っていなかった。	・事業所評価の公表
2	訪問支援に使用する教具教材が不十分	・利用児が所属している事業所の教材紹介等は行っているが貸し出し等は行っていない。 ・保育所等訪問としての貸し出し可能な物品などは準備していない。	・保育所等訪問部として貸し出し可能な物品などをそろえていく。
3	（施設側から）保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されないこともあった。	・継続的な支援ができていないことがあった ・年間の訪問回数が少ない	・次年度は、訪問回数を増やしていく計画である。 ・年間の訪問計画が不十分なため、訪問先ともしっかり協議する時間を増やしていきたい